

Ⅲ 決算に関する情報

○ 平成 22 年度決算（国有林野事業特別会計）

・歳入歳出決算の概要

（単位：百万円）

歳 入		歳 出	
国 有 林 野 事 業 収 入	31,066	国 有 林 野 事 業 費	80,335
業 務 収 入	21,930	治 山 事 業 費	28,981
林 野 等 売 払 代	4,096	北 海 道 治 山 事 業 費	3,719
財 産 貸 付 料 等 収 入	5,039	離 島 治 山 事 業 費	291
一 般 会 計 よ り 受 入	162,321	沖 縄 治 山 事 業 費	37
地方公共団体工事費負担金収入	3,088	国 有 林 野 森 林 整 備 事 業 費	60,665
借 入 金	260,900	施 設 整 備 費	1,928
雑 収 入	760	治 山 事 業 工 事 諸 費	523
		国 有 林 野 森 林 整 備 事 業 工 事 諸 費	1,964
		国 有 林 野 災 害 復 旧 事 業 費	688
		国 債 整 理 基 金 特 別 会 計 へ 繰 入	278,283
		予 備 費	—
合 計	458,138	合 計	457,417

※ 百万円未満切り捨てのため、合計が一致しないことがある。

※ 百万円未満の計数がある場合には「0」で表示し、該当計数が皆無の場合には「—」で表示している。

※ 本表は、収納済歳入額と支出済歳出額を掲載しているため、発生主義に基づく収入と支出の額とは一致しない。

- ・ 一般会計からの繰入金の額及び当該繰入金の額が予算に計上した額と異なる場合にあってはその理由

（一般会計からの繰入金の実績額） 162,321 百万円

（予算に計上した繰入金の額） 168,747 百万円

（相違した理由）

翌年度への繰越事業があったこと等のため。

- ・ 借入金等（借入金並びに公債及び証券の発行収入金）の額及び借入金等の額が予算に計上した額と異なる場合にあってはその理由

・（借入金の額） 260,900 百万円

（予算に計上した借入金の額） 261,900 百万円

（相違した理由）

借入償還に要する借入金が予定より少なかったため。

- ・(公債発行収入金の額) —
- ・(証券発行収入金の額) —
- ・歳入歳出の決算上の剰余金の額、当該剰余金が生じた理由及び当該剰余金の処理の方法
(剰余金の額) —
(剰余金の処理の方法)

国有林野事業特別会計の経理は、企業会計における会計原則を適用しており、発生主義に基づいて行うこととされている。このため、歳入が歳出を超過した場合でも、当該額を直ちに剰余金として処理せず損益計算を行い、その結果明らかにされた利益又は損失について処理方法等が定められている(「特別会計に関する法律」第165条)。

なお、歳入が歳出を超過した場合、年度末現金残高として扱われるが、翌年度に持ち越し、未払い金等翌年度の支払いの財源に充てられている。

- ・平成22年度末における積立金及び資金の残高

- ・(積立金の残高(平成23年3月31日))

現在積立金は保有していない。

なお、「特別会計に関する法律」第165条の規定により、毎会計年度の損益計算上利益を生じた場合、繰り越した損失をその利益の額をもって補足し、なお残余がある場合積み立てるものとされている。

- (平成22年度決算により積み立てる額) —

国有林野事業特別会計の決算に関するお問い合わせ先 林野庁国有林野部管理課決算班決算係 (代表) 03-3502-8111 (内線) 6251
--